

[前画面へ戻る](#)

科目名	農業経済論Ⅱ
配当年次	3年次
開講期間	秋学期
単位数	2
担当教員	望陀 芙美子(モウダ フミコ)
期間・曜日・時限・教室	秋学期 木曜日 1時限 23-401

※

①授業の概要：農業経済学の基礎的な理論を理解することにより、現実の経済問題を考え、分析する力をつけます。

②授業の目的：本講義は、生産、流通、消費の三局面から構成され、これら三局面を通して「食と農」について基本的に理解することが求められます。それと同時に国際的視点からの分析を含めて講義が行われるうえ、グローバルな観点からの理解も求められています。よって、農業経済学の基本的な理論や既存の農業・食料政策の成り立ちと仕組みを理解することを目的としています。

授業の目的・目標

③修得できる力：

2023年度入学生：DP1○、DP2△、DP3◎

※DPの記号は、入学年度のカリキュラム・マップで確認してください。

※カリキュラム・マップは、JUnaviのログイン画面で確認できます。

④授業の到達目標：

農業経済学を応用し最近の経済社会問題を理解できるようになることを目標としています。

以上に加えて、上記②であげた多様な能力、素養を身につけることが、本授業の到達目標です。

⑤実務経験と授業内容との関連：なし

準備学習等の指示

①1回の授業について、

・予習（1時間45分）：授業で取り上げる参考書などにより、授業の大まかな流れをつかんでおくこと。次回対象となる項目については各授業の終了時に説明します。

・復習（1時間45分）：授業で取り上げた重要なポイントを中心に、レジюмеやノートを見直し論点を整理すること。次回授業時に適宜内容を確認し、フィードバックを行います。

②課題の配布や提出を行うため、WebClass等のLMSを用います。

- ③グループでのディスカッションを実施することもあるため、遅刻・欠席はしないように努めてください。
- ④アクティビティ後のふりかえりや、関連課題は、必ず期限を守って提出してください。
- ⑤日頃から新聞に目を通すことと同時に、様々な情報端末に触れるよう心掛けてください。

講義スケジュール

■ 1回目

- 【テーマ】はじめに、「食」と「農」とは何か
- 【到達目標】「食」と「農」とは何かについて理解を深めることができる
- 【準備学習】「食」と「農」とは何かについて調べる
- 【特記事項】なし

■ 2回目

- 【テーマ】食品工業 1 – 食品の加工
- 【到達目標】食品の加工、我が国の食品工業の特色について理解を深めることができる
- 【準備学習】食品の加工、我が国の食品工業の特色について調べる
- 【特記事項】なし

■ 3回目

- 【テーマ】食品工業 2 – 食品工業と産業組織論
- 【到達目標】食品工業の海外進出、食品工業の産業組織論的アプローチについて理解を深めることができる
- 【準備学習】食品工業の海外進出、食品工業の産業組織論的アプローチについて調べる
- 【特記事項】なし

■ 4回目

- 【テーマ】食料経済の基礎理論 1 – 消費者選択の理論
- 【到達目標】食品選択の理論について理解を深めることができる
- 【準備学習】食品選択の理論について調べる
- 【特記事項】なし

■ 5回目

- 【テーマ】食料経済の基礎理論 2 – 予算制約線と無差別曲線
- 【到達目標】予算制約線と無差別曲線について理解を深めることができる
- 【準備学習】予算制約線と無差別曲線について調べる
- 【特記事項】なし

■ 6回目

- 【テーマ】食料経済の基礎理論 3 – 食品選択の理論の実際
- 【到達目標】食品選択の理論の実際について理解を深めることができる
- 【準備学習】食品選択の理論の実際について調べる

【特記事項】 演習問題の実施

■ 7回目

【テーマ】 外食産業、中食、コンビニエンスストア

【到達目標】 外食、中食、コンビニエンスストアの成長要因について理解を深めることができる

【準備学習】 外食、中食、コンビニエンスストアの成長要因について調べる

【特記事項】 なし

■ 8回目

【テーマ】 食料消費パターンの変化

【到達目標】 食料・消費構造の変化、食生活の変化について理解を深めることができる

【準備学習】 食料・消費構造の変化、食生活の変化について調べる

【特記事項】 なし

■ 9回目

【テーマ】 世界の食料生産

【到達目標】 農水産物の生産、食料問題、食料需給の見直し、食料自給率の国際比較について理解を深めることができる

【準備学習】 農水産物の生産、食料問題、食料需給の見直し、食料自給率の国際比較について調べる

【特記事項】 なし

■ 10回目

【テーマ】 日本の食料生産、農業の動向

【到達目標】 農業生産、兼業化・高齢化、国境措置について理解を深めることができる

【準備学習】 農業生産、兼業化・高齢化、国境措置について調べる

【特記事項】 なし

■ 11回目

【テーマ】 食料の輸入と自給率

【到達目標】 自給率とは、供給熱量自給率、輸入自由化について理解を深めることができる

【準備学習】 自給率とは、供給熱量自給率、輸入自由化について調べる

【特記事項】 なし

■ 12回目

【テーマ】 環境と農業、近年の食料問題

【到達目標】 農業と環境問題、農業の外部効果、最近の事例について理解を深めることができる

【準備学習】 農業と環境問題、農業の外部効果、最近の事例について調べる

【特記事項】 なし

■ 13回目

【テーマ】 まとめ

【到達目標】 秋学期の内容を理解し、整理することができる。

【準備学習】 秋学期の内容について振り返る

【特記事項】 なし

教科書 指定しない。

参考文献 半谷俊彦・山田 久・大久保研治・柴田有祐・清水雅貴・葉山幸嗣・望陀芙美子
(2014) 『これだけはおさえたい経済学: 学びのガイダンス (Primary大学テキスト)』、実教出版。

この講義は主として、

- ・ 講義
- ・ 演習

形式で行います。

授業方法として下記のアクティブラーニングの手法を実践します。

- ・ 問答法（学生の意見や小テストの結果、アイデア、学習理解状況を聞いて、それを基に授業を進めていく）
- ・ 学生の回答などのフィードバックが授業の構成要素に入っている
- ・ 学生への発問及びその回答が授業の構成要素に入っている
- ・ P B L
- ・ 反転授業
- ・ ディスカッション・ディベート
- ・ ICTを利用した授業内レスポンスの活用（クリッカー等）
- ・ グループワーク

【フィードバック方法】 なお、小テスト・課題等については、

- ・ 複数回ごとに全体（グループ）にフィードバックを実施する

学生のオンラインなどを含めた学修をサポートするため、下記のLMSを使用します。

- ・ WebClass

成績評価方法 ※学則にしたがい、授業時数の3分の1以上欠席した場合は、評価の対象となりません。

【評価方法】 ①筆記試験、②課題、③授業貢献度・参加態度、④各種検定の取得・受験状況（授業開講期間に限る）。

※各種検定：食生活アドバイザー3級または2級、「経済学検定試験（EREミクロ・マクロ）」、「eco検定（環境社会検定試験）®」、MOS検定（Word、Excel、PowerPoint）、TOEICスコアアップ。

【評価割合】 ①70%、②20%、③10%、④+a加点対象。

【評価基準】すべての課題が提出されることを最低基準として、「授業の到達目標」の達成度に応じた評価を行います。

オフィスア
ワー 月曜日・水曜日の昼休み

居室 望陀研究室（23号館 4階 430号室）

ホームペー
ジ

その他特記
事項

添付ファイ
ル

[前画面へ戻る](#)

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011